

# 英語科通信 vol.1

枚方市立中宮中学校英語科

17 October 2017

進級・入学おめでとう。

中宮中学校には、3年生に濱中先生・徳永先生、2年生に永田先生・デイサ先生、1年生に野口先生・西本先生・高木先生という7名の英語科教員がいます。更に今年度からアンディー先生が招提中学校から来て下さいました。

英語科の取り組みとしては、授業だけでなく、英検、階段への英語の掲示、英語科通信などを考えています。この通信は第1号ということで、皆さんにお配りします。第2号以降は、English Room に掲示する大判ポスターにするかもしれませんが、楽しみにしておいてください。

さて、今回は、英語の資格試験についてお話をしておきましょう。まずは、高校入試に必要なものから説明しておきます。

先日、3年生から「大阪府立高等学校の英語学力検査問題改革について ([http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/eng\\_sam.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/eng_sam.html)) というページを見たのですが、これって、英検準1級とれば、英語の試験は100点になるってことですか？」という質問を受けました。答えとしては、ほぼ Yes! です。昨年度の入試要項では、特別選抜の発展問題を除き、全ての英語のテストで対象になっています。例えば、一般選抜の英語のテストでは、英検準1級保持者なら90点満点になります。以下がその一覧表です。

テスト名⇒	TOEFL iBT	IELTS	英検	読み替え得点率
※大阪府立高校入学者選抜 教科「英語」	60点	6	準1級	100%
	50点	5.5	(対応無し)	90%
	40点	5	2級	80%

いくつかテストの名前が載っていますが、聞きなれないものもありますね。それでは、日本国内で現在行われている英語系のテストについて、紹介しておきます。

## ①英検(正式名称は実用英語技能検定)

英検は英語力の習得のみならず、入試における学科試験免除、入学金・授業料

免除や英語科目の単位認定など、学校によってさまざまな優遇措置を受けられるメリットがあります。また、英検協会によると、現在、北米を含む約400大学・カレッジが留学時の語学力証明として英検を認定しています。更に、オーストラリアでは5州の州立高校全校が認定しており、留学時の語学証明に使えるようです。英検は、学習レベルに応じて7つの級を設定しています。英語の基礎を身につけ、一歩ずつ確実にステップアップできる5級・4級・3級(中学校卒業程度)。使える英語の幅を広げ、世界へ飛躍する力を養う準2級・2級(高等学校卒業程度)。そして、英語使用者として国内外で高く評価される準1級・1級です。自分の英語レベルに応じて、どの級からでもスタートすることができます。英検にチャレンジすることで、自分の英語力が把握できます。ひとつ上の級を目指して学習することが、社会で通用する英語を身につける近道になります。

## ②TOEFL® テスト (正式名称は Test of English as a Foreign Language)

英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストとして、米国非営利教育団体である Educational Testing Service(ETS)により開発されました。大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定します。

TOEFL テストは世界中の英語検定テストの中で、最も幅広い国々で受け入れられているテストです。アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダのほぼ全ての大学をはじめとした、130カ国9,000以上の機関が、TOEFL テストスコアを英語能力の証明、入学や推薦入学、奨学金、卒業の基準として利用しています。日本では大学や高校での学内単位認定や、入試優遇、海外派遣選考の目安として利用されています。

TOEFL テストには、TOEFL® PBT テスト (Paper-based Test ペーパー版 TOEFL テスト)と TOEFL iBT®テスト (Internet-based Test インターネット版 TOEFL テスト)があります。現在、日本では TOEFL iBT テストが実施されており、TOEFL PBT テストは2007年11月以降実施されていません。

## ③IELTS : アイエルツ(正式名称は International English Language Testing System)

海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある方、およびイギリス、オーストラリア、カナダなどへの海外移住申請に最適なテストです。イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められており、アメリカでも TOEFL に代わる試験として入学審査の際に採用する教育機関が3,000を超え、英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。

④TOEIC(正式名称は Test of English for International Communication)

英語を母語としない者を対象とした、英語によるコミュニケーション能力を検定するための試験です。

⑤国連英検(国際連合公用語英語検定試験, United Nations Associations Test of English )

国際連合の公用語には英語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、アラビア語があるがその中の英語の能力を問う試験です。

特 A 級から E 級までの 6 段階があります。礼儀正しさ、社会常識、世界で起きていることへの関心、更に自分のもつ英語力をどのような分野で生かすのかといった将来への希望など、幅広い話題に対する的確な対応が求められます。また、試験内容に時事問題が含まれているのが大きな特徴です。

ちなみに、②～④の試験には、合否判定はなく、受験時におけるスコアを認定する制度を採用しています。つまり実力測定試験であり、資格や免許ではありません。受験後には TOEIC では、「Official Score Certificate」(公式認定証)が発行されます。

たくさん紹介をしましたが、中宮中学校では英検を行っています。ぜひ、自分の力を試してみてください。受験級などの質問がある場合は、英語科の先生まで尋ねてください。

最後になりましたが、国の外国語教育の方針をお知らせします。

大学入試において、2020年度(今の中学3年生)から、センター試験が廃止され、それに代わる試験の英語に関しては、「英語力の評価及び入学者選抜における4技能のコミュニケーション能力を評価する」といわれています。

実際に、文部科学省は、資格・検定試験等の成績の活用ということで、以下のよう

(1) 入学志願者の能力・適性や学習の成果、活動歴等を多角的かつ客観的に評価する観点から、例えば、以下のとおり、学部等の特性及び必要に応じ信頼性の高い資格・検定試験等の活用を図ることが望ましい。

① 入学志願者の外国語におけるコミュニケーション能力を適切に評価する観点から、「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進について」(平成27年3月31日付け26文科初第1495号文部科学省初等中等教育局長・文部科学省高等教育局長通知)を踏まえ、実用英語技能検定(英検)やTOEFL等、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を測ることのできる資格・検定試験等の結果を活用する。

なんか、試験、試験ってつまらない話をしましたが、英語を使えるようになって、外国に行って、いろんな人の生活や文化を感じたり、きれいな遺跡や名所を見たりしませんか？

完璧な英語を話す必要はありません。コミュニケーションがとれればいいんです。一緒に勉強していきましょう。

第2号以降はアンディーに楽しい通信を書いてもらいます。おたのしみに～♪  
⇒通信の名前を考えてください。良い名前を思いついた人はアンディーまで